

--	--	--	--	--	--	--	--

10-S72-1 (セファメジン)		クリニカル・パス			
パス名	大腿骨頸部骨折(FHP) (右・左・両側)	外来 医師		主治医	
		外 来 看護師		病 棟 看護師	

目 標

心身ともに安定した状態で手術を受けることができる
手術後リハビリが順調に進み、歩行できる
退院の準備が整い早期に社会復帰できる

氏名 _____ 男・女

月日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	
経過	前々日	手術前日	当日(術前)	当日(術後) 入室時間(:)	術後1日目	術後2日目	術後3日目	術後4日目	術後5日目	術後6日目	術後7日目	術後8日目	術後9日目
目標	手術に対する不安が最小限となる 体調を十分に整えて手術にのぞむことができる			麻酔の合併症が出現しない 出血が最小限で貧血をおこさない 感染徴候、神経症状、血栓徴候がない 脱臼しない		下垂座位がとれる 介助付きで車イス座位がとれる		監視下で歩行ができる		ゆるみ、沈下をおこさない			
検査	術前検査 骨塩定量の予約 動脈採血 クロス血 尿中デ`林シ`リ`リ`	麻酔科対診 術中レントゲン提出	レントゲン検査 (術中)		血液検査(術後set1) 尿検査 リハビリ簿					骨塩定量DXA (反対側股関節)	血液検査(術後set1) 尿検査 レントゲン検査		
食事	並食 (必要時特別食)	夕食後絶食 (水分は2時まで可)	絶食		並食 (術前の食事に戻る)								
処置・観察	体温		体温										
	脈拍		脈拍										
	血圧		出血 SB/バグ										
	疼痛		創痛										
	足趾 運動性		足趾 運動性										
	しびれ		しびれ										
	排便回数					リハビリ							
観察	必要時 筋力アップ`Re バルーンカテーテル挿入 (必要時)		早朝 パ`イタルシ`イ`ク` ネ`ム`ン`ド` 手術衣に着替え	手術後より翌朝まで 酸素吸入 6 L 40% 12時間 A Vインパルス 術後48時間		ガーゼ交換 ドレーン抜去	創管理 (火・木)	バルーンカテーテル抜去 (`ボ``タ``ル``ト``化``設``置``)				創部半抜針	
注射・内服	持参した常用薬を 確認	ILシ`注20S 1 A (筋注) 眼前内服 ブルセニド 2錠 アモバン 1錠	材`洗`腸 ヴィ`ン`F 500ml 生食 100ml セファメジン 1g (手術室持参) 麻酔前投薬 硫酸アトロピン1A トルミカム 1/5A 施行 : 留置針挿入(術前)	ソリタT3 500ml 生食 100ml セファメジン 1g (入室3時間後) ソリタT3 500ml ソリタT3 500ml	生食 100ml セファメジン 1g (朝) 生食 100ml セファメジン 1g (夕) 生食 100ml セファメジン 1g (夕) 留置針抜去 (夕点後)	セフゾン 3錠 分3食後 5日分		ILシ`注20S 1 A (筋注)					
行動	床上安静 (痛みのない程度にベッドアップ可 健側下の側臥位可)	シャワー浴 (または清拭)		床上安静 外転ピロー装着(終日)	ベッドアップ70度 介助体交、外転台使用 下肢訓練(リ`リ`リ`依`頼`) 清拭・更衣	下垂座位80度可 ドレーン抜去後 介助車イス可 介助`タ``ル``ト``化``可`	患肢荷重可	車イスでトイレ可 清拭 (または防水シャワー) 起立訓練開始 (荷重フリー)	術後疼痛に応じて 歩行訓練		弾性包帯除去 防水シャワー		
説明	医師より説明 手術同意書 入院治療計画書 看護師より説明 入院生活について 必要物品について 柄つきブラシ、火バサミ等の 購入について パンフレット (麻酔について、股関節の手術を 受けられる方へ)	麻酔医より説明 麻酔問診表 看護師より説明 術後の注意事項について		医師より説明 家族に 手術結果について	医師より説明 本人に 手術結果について 薬剤師より説明 薬剤管理指導				看護師より説明 家屋チェック 浴室・トイレ・その他 退院に向けての指導 身障手帳の申請希望の 有無を確認 医療社会事業部へ紹介 (転院方向の有無確認)				
追加・備考	P tの反応 : 前段階要因 引き金要因 転倒・転落対策 基準寝具	P tの反応 : 初期オ`デ`ィ`ット	手術室持参物品 T字帯 バスタオル ドローシーツ 外転ピロー	P tの反応 : 疼痛時(要処方箋) ボルタレン坐薬 (25) (50) 1個				柄付きブラシ 火バサミ購入確認		P tの反応 :			
バリア ンス													
巡視													
署名													

大腿骨の人工骨頭挿入手術を受けられる















































様へ

説明医師

看護師

目標

心身ともに安定した状態で手術を受けることができる
手術後リハビリが順調に進み、歩行できる
退院の準備が早い早期に社会復帰できる

月日経過	月 日	月 日	月 日(手術日)		月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日								
目標	手術前々日		手術前日	当日術前	当日術後	術後1日目	術後2日目	術後3日目	術後4日目	術後5、6日目	術後7日目	~術後14日目	~術後20日目	~退院 (術後21日目)							
検査	手術に必要な検査は外来で終了しています 動脈採血と尿検査をします 				手術後の苦痛が最小限である	血液検査と尿検査を行います 	検査を行うことがあります 				血液、尿、レントゲン検査を行います 	血液、尿検査を行います (術後12日目頃) 	血液検査と尿検査を行います (術後19日目頃) 								
食事	制限ありません (必要時は特別食) 		21時以降絶食 (手術までに食事練習) 		絶食 	朝より食事開始 														朝食後退院 	
処置・観察			手術前に浣腸をします		翌朝まで酸素吸入をします	痛い時は看護師に申し出てください	ドレーン抜去 (状態により早くなる場合があります)	ガーゼ除去				経過がよければ半分だけ抜糸します (術後8日目頃) 経過がよければ残りの抜糸をします (術後10日目頃)									
注射・内服	確認しますので常用薬を看護師にお渡しください 		消灯時に下剤と眠剤を服用します 		手術前に点滴と注射を行います 	術後点滴が3本と抗生物質の点滴が2本あります (朝と夕) 	術後2日目に点滴チューブを抜きます 														
行動	ベッド上で安静にしてください 		シャワー浴又は清拭 		ベッド上で安静にしてください 	ベッドアップ70度横向き必ず介助で行います 	ベッドの端に足を垂らして座ることができます 	病棟内は介助付きで車イスに乗れます 	尿管を抜きます (状態により早くなる場合があります) 	車イスでトイレまで行くことができます 	術後7日目以降介助付きでシャワー浴をします 	自分でくつ下をはく練習をします (術後14日目頃) 	自分で体を横向きにする練習をします (術後17日目頃) 	退院となります 							
リハビリ	筋力アップの訓練をする場合があります 					リハビリ開始 (ベッド上で) 	介助車椅子 			起立訓練以後は痛みに応じて歩行器での歩行訓練をします 		杖での歩行訓練をします (術後14日目頃) 	杖を使って階段昇降の練習をします (術後18日目頃) 								
説明	医師より説明 手術について 		麻酔科医より説明 手術の麻酔について 			医師より説明 手術結果について 	薬剤師より説明 お薬について 				看護師より説明 リハビリの進み具合をみて日常生活の注意点について 		医師より説明 退院後の診察について 	看護師より説明 退院後の日常生活について 							

* 入院に関して心配事がありましたらお申し出ください。

* この表はおよその経過をお知らせしたものです。種々の都合により、予定通りではないこともありますので、予めご承知ください。

* 入院費についてはおよその概算額です。検査や手術により金額が変わります。

* 入院中はこの用紙を必ずお持ちください。

保険3割	老人1割
¥ 150,000	¥ 60,000

--	--	--	--	--	--	--

クリニカル・パス			
パス名	大腿骨頸部骨折(FHP) (右・左・両側)	外来 医師	主治医
		外 来 看護師	病 棟 看護師

氏名 _____ 男・女

月日経過	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日
目標	術後10日目	術後11日目	術後12日目	術後13日目	術後14日目	術後15日目	術後16日目	術後17日目	術後18日目	術後19日目	術後20日目	術後21日目 退院時間(:)
検査			血液検査(術後set1) 尿検査							血液検査(術後set1) 尿検査		
食事												朝食後、退院
処置・観察	体温											
	脈拍											
	創痛											
	足趾運動性											
	しびれ											
	リハビリ											
	ガーゼ交換			検創								
観察	排便回数											
	創部残抜針											
注射・内服			注射注20S 1A (筋注)							注射注20S 1A (筋注)		
行動	シャワー浴(介助) 男性は月・水・金 女性は火・木・土				スポンジ体交							
説明			外転ロー除去								医師より説明 退院後の治療計画について	次回受診日 月 日
											看護師より説明 退院後の日常生活について	転院 () 医院
追加・備考	前段階要因										Ptの反応:	
	引き金要因											
	転倒・転落対策											
	基準寝具											
バリアンス												
巡視												
署名												

